

令和5年9月28日

各位

会社名 岡谷鋼機株式会社
代表者 取締役社長 岡谷 健広
コード番号 7485 (名証プレミア)
問合せ先 企画本部企画部長 中根 啓司
TEL (052)204-8133

脱炭素社会に向けた取組みについて

当社は、脱炭素社会に向けた取組みの一環として、昨年、単体の温室効果ガス排出量(Scope 1,2)を算定しました。今回、算定対象範囲を国内外グループ会社まで拡大し、グループ連結での Scope 1,2 を算定しましたので、お知らせいたします。

1. 当社のこれまでの環境取組

1999年に「岡谷鋼機環境方針」を策定し、環境への取組みを経営上の重要課題と位置づけ、様々な活動に取り組んでまいりました。事業活動においては、リサイクル性の高い商品および省エネルギー・環境配慮型商品の取扱いを増やすとともに、事務所のLED照明への切り替えや、ハイブリッド車・燃料電池車・電気自動車また風力発電街路灯の導入等を実施するなど、環境貢献活動に全社で取り組んでいます。

2. 2022年度連結及び単体 Scope1,2 算定結果

(単位:ton-CO₂)

項目	連結	単体	
	2022年度 (実績)	2022年度 (実績)	2021年度 (ご参考)
Scope 1	11,870	533	553
Scope 2 (マーケット基準)	23,301	1,264	1,267
合計(Scope 1 + Scope 2)	35,171	1,797	1,820

3. 今後の取組みについて

当社グループは、気候変動に対する企業の社会的責任として、グループ全社での温室効果ガス排出量削減を目指し、次世代自動車および再生可能エネルギーの導入拡大、グループ全体での Scope3 の算定に取り組んでまいります。

また事業活動においては、環境配慮型商品、電動車や再生可能エネルギー向け設備・部品・素材等の取扱いを拡大することにより、CO₂排出量の削減を推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

<ご参考>

- ・ Scope 1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- ・ Scope 2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- ・ Scope 3: Scope1、Scope2 以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)
- ・ マーケット基準: 報告企業が電力を購入している契約内容を反映して算定する方法

以上